

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

公益目的事業1 平和教育・平和普及啓発事業

1. 講演会等の普及啓発

(1) 2021年度五井平和財団フォーラム

開催日 令和3年11月20日(土) 14:00~16:15 オンライン配信

テーマ 「想像を超える未来を創造する」

視聴回数 日本語：3,689回 英語：1024回 (YouTube、Facebook)

内容 第1部

五井平和賞受賞記念講演・ダイアログセッション

平和賞受賞者 グンター・パウリ / 起業家、作家、

The Global ZERI Network 創業者

パネリスト 上田壮一 / 一般社団法人 Think the Earth 理事、
プロデューサー

西園寺昌美会長

モデレーター 西園寺裕夫理事長

第2部

国際ユース作文コンテスト受賞作品発表

「いのちって何？」

(2) 講演会

① 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」 オンライン配信

第59回講演会

講師 星野ルネ 漫画家、放送作家、タレント

テーマ アフリカ少年と考える多様な人々の暮らす世界

開催日 令和3年6月5日(土)

視聴回数：3,897回

第60回講演会

講師 近内悠太 教育者、哲学研究者

テーマ 利他と他者理解

開催日 令和3年9月18日(土)

参加費 賛助会員・学生1000円、一般1500円

参加者数：合計296名(内訳：賛助会員236名、学生1名、一般44名、
個人特別会員招待15名)

第61回講演会

講師 成澤俊輔 世界一明るい視覚障がい者

テーマ どうにもならない経験をとらえ直す

開催日 令和4年3月19日(土)

参加費 賛助会員・学生1000円、一般1500円

参加者数：合計418名(内訳：賛助会員283名、学生5名、一般48名、
個人特別会員招待26名ほか)

②中高生キャリア支援プログラム「私のコンパス」オンライン配信

第1回

講師 安田菜津紀 フォトジャーナリスト

テーマ 日本も大変なのに、どうして世界のことを考えるの

開催日 令和3年8月16日(月)

参加者数 合計74名(中高生65名、オブザーバー(教員等)9名)

第2回

講師 公文和子 医師、シロアムの園(ケニア)代表

テーマ いのちの価値とキャリア形成 - いのちの重さは誰が決めますか? -

開催日 令和4年3月31日(木) 9:30~11:00

参加者数 合計71名(中高生70名、オブザーバー(教員等)1名)

(3) Living New ワークショップ

人が輝ける生き方を応援し、人と人、人と社会をつなげながら、新しい未来をつくっていくプロジェクト

○あるがままの自分を知る・気づく・見つめる場の提供

○人の在り方、考え方、感じ方の多様性を共感、共有する場の提供

○自分の特性を社会に活かすサポート

オープンカフェ東京 令和3年8月29日(日) オンライン開催 20名

令和4年1月30日(日) オンライン開催 20名

LNコース・LNコース修了生の会は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み中止

(4) 賛助会員との交流および活性化事業

①2021年度五井平和財団会員総会「報告と感謝の集い」

開催日 令和4年2月27日(日) オンライン配信

対象 賛助会員限定

視聴者数 489名 再生回数:825回

内容 財団の設立の経緯や今後の方向性、質疑応答など

②地方懇談会 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み開催中止

③ボランティア活動

ーコミュニケーター制度

コミュニケーター通信 Vol.40~Vol.42 発刊

ーピースフル・プロジェクト

月間テーマ

4月 気候変動について学び、行動しよう/5月 日本の文化・和の精神を深めよう

6月 他国の文化を学び、違いを楽しもう月間/7月 リンピック参加国の平和を祈ろう

8月 地球への感謝を行動に現す/9月 平和を実践しよう

10月 自然の恵みに感謝する/11月 生命について考えよう

12月 考えて買い物をしよう/令和4年1月 自分の長所を生かそう

2月 身近な人に感謝を伝えよう/3月 小さな幸せを探そう

ー作文選考ボランティアとの対話会

8月19日(木) 13:30~15:00

参加者数 20名

(5) 国際理解に資する交流事業

①国連・ユネスコとの交流事業

- 持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議

5月17日~19日の3日間、ユネスコ加盟各国の大臣級代表をはじめ、ESDに関わるNGOや専門家など約2500人が参加し、「ESD for 2030」の推進を確認。「ユース」部門に注力してきた財団も招待され参加

②国際機関・海外民間団体との交流事業

- モハメッド 6 世環境保護財団／モロッコ
連携事業として国際交流と環境保護をテーマとしたプログラムを実施
＜詳細は 4.ESD 関連事業で報告＞
- シティ・モンテッソーリ・スクール
国際司法の日である 7 月 17 日（土）に、27 カ国から最高裁判所長官や元国家元首、裁判官、大学教授らが参加し、「パンデミック時の世界の正義、平和、安全、幸福」について意見交換。西園寺会長がオープニングでビデオ出演
- 国際オンライン会議「グローバル危機：誰もがすでに影響を受けている」
ウクライナで国際社会運動を推進するアラトラ・テレビ主催の国際オンライン会議が 7 月 24 日に開催され、「富士宣言」発起人であるラズロ博士、西園寺会長・理事長が名誉スピーカーとして提言。約 60 言語に同時通訳され、数百万人に視聴される
- 黒海経済協力機構（Black Sea Economic Cooperation）の発足記念日 6 月 21 日にピースポール贈呈
- 北欧理事会（Nordic Council）にピースポール贈呈

③ May Peace Prevail On Earth International（姉妹団体）日本オフィス活動協力

- －「スポーツと平和」をテーマに、83 カ国 5300 点を超える作品が寄せられ、その中から選ばれた優秀作品を成田空港アートギャラリーで展示
日時：8 月 4 日（水）～24 日（火）
会場：成田国際空港 NAA アートギャラリー
第 1 旅客ターミナル中央ビル本館 5 階
入場無料
- －地球っ子広場夏休み企画 ピースパル国際アートコンテストワークショップ
「親切」をテーマにお話ししよう、絵を描こう！
日時：8 月 1 日（日）10：00～12：00
対象：5 歳～小学 6 年生
- －第 29 回広島ピースセレモニー
8 月 6 日（金） オンライン開催
MPPOE ニューヨーク・オフィス、SINE Network と共催
約 8000 名の参加者
吉川里香 MPPOE International 副理事長スピーチ
- －第 22 回長崎ピースセレモニー
8 月 9 日（月） 長崎平和公園
約 30 名の参加者
吉川里香 MPPOE インターナショナル副理事長スピーチ代読
- －Peace Prevails Program 普及支援
MPPOE インターナショナルが開発した小学生向けの平和教育教材とその活用のための教員トレーニング・プログラムの普及支援
- －日本語ウェブサイトおよびメールマガジン等による情報発信
<http://www.worldpeace-jp.org/>
- －平和普及自主活動

年月日	活動内容
2021.06.09～23	北海道旭川市でピースポールメンテナンス 10 本
2021.06.15	私設たまプラーザ駅徒歩 2 分図書館にてピースポール建立 参加 5 名
2021.06.21	夏至の日のリレー WPPC に全国から 95 名参加
2021.08.06	原爆の日に広島 WPPC 開催 参加約 1000 名（オンライン）

2021.08.07	岡山県日詰山サムハラ神社にて第6回 WPPC 開催 参加約 130 名 インターネット中継
2021.08.09	原爆の日に長崎 WPPC 開催 参加約 30 名
2021.09.1~28	三重県伊勢市の百五銀行にて、ピースパルアートコンテスト展示会を開催
2021.09.21	和服で平和祭りの一部として銀座のアートギャラリーで WPPC 開催、ネット中継 (Facebook live)
2021.09.21	ポーランドのワルシャワ市平和公園のピースポール付近で国際平和デー行事を開催
2021.09.21	岡山県岡山市中心部でピースウォークを実施。県内外から参加 50 名
2021.09.21	ナイジェリアのポートハーコート市のエメラルドホテルにて国際平和デー行事の記念式典。平和賞のトロフィーとして卓上ピースポールを 32 名に贈呈。参加約 200 名
2021.09.21	アメリカのシカゴピースデーにてフラッグセレモニー。オンライン開催
2021.09.22	秋分の日のリレー WPPC に全国から 88 名が参加
2021.11.22	NY オフィス主催のグローバルピースポールデーのオンラインイベントに参加 50 名
2021.11.27	広島県宮島の大聖院にてフラッグセレモニー&コンサート 参加 50 人
2021.12.21	冬至の日のリレー WPPC で全国から参加 80 名
2021.02.01	栃木県小山市のタイレストランにピースポール建立 参加 10 名
2021.03.20	春分の日のリレー WPPC に全国から参加 78 名
2021.03.20~29	三重県伊勢市の百五銀行河崎支店にて第 23 回ピースパル国際アートコンテストの展示
2021.03.30	高山寺 WPPC に全国から参加約 80 名、国内外の合気道関係者も多数参加

(6) 「富士宣言」推進 (パートナー組織および事務局として)

① ソウル・オブ・ウィメン

女性の会：定期開催

② Source of Wonder

2020 年 10 月から 12 月にかけて、五井平和賞受賞者、富士宣言賛同者をはじめ、思想家、芸術家、教育者など、様々な国や分野から 80 人を超えるオピニオンリーダーがより良い未来の共創をテーマに、スピーチ、音楽、ダンス、瞑想など多様な表現方法でプレゼンテーションを配信。

「Source of Wonder」日本語字幕の動画配信

ハイライト版に日本語字幕を付けウェブサイトで配信(12 本)

配信日：4 月 14 日、5 月 26 日、6 月 22 日、7 月 29 日、9 月 2 日、10 月 1 日

視聴回数合計 5900 回

英知の言葉

Source of Wonder の録画より、日本語字幕化以外の 12 人を選び、神聖なる生き方について示唆に富んだメッセージを集め、「英知の言葉」としてまとめてウェブサイトにブログ配信

広報活動

Source of Wonder 日本語字幕の動画配信と「英知の言葉」を Facebook, メーリングリストで告知

(7) 各種情報媒体の活用

①機関誌「平和の創造」発行

季刊 各約 5,000 部作成と発送

活動報告、新しい方向性、イベント情報等を掲載

②MPPOE ニュース発行

季刊 各約 5,000 部作成と発送

ピースメーカーの活動報告、キャンペーン情報等を掲載

③インターネット・ソーシャルネットワークサービス (SNS)

<五井平和財団>

ウェブサイト、フェイスブック (日英) / ツイッター 定期更新

YouTube 公式チャンネル (日英)

Flickr (フリッカー: オンラインアルバムサービス)

メールマガジン (日英) 発刊

<ESD ユース>

ESD 日本ユース・コミュニティ/フェイスブック

ESD ユース参加者運営の SNS

「ESD 日本ユース情報局」フェイスブック/ツイッター

ESD ユース地区ごとの LINE グループ

<地球っ子広場>

フェイスブック定期更新

<社会起業家コンペティション>

オンライン・コンペティション

オンライン・キャンパス

<富士宣言>

ウェブサイト/フェイスブック (日英西) 定期更新

メールマガジン

ソウル・オブ・ウィメン/フェイスブック (英)

<Source of Wonder>

ウェブサイト (英)

メールマガジン (英)

YouTube 公式チャンネル (英)

<平和科学調査研究会>

ウェブサイト (会員制)

<MPPOE>

ウェブサイト/フェイスブック定期更新

メールマガジン/ツイッター発刊

⑤各種行事の動画配信

- ・「講演会シリーズ: 21 世紀の価値観」

星野ルネ講演会 アフリカ少年と考える多様な人々の暮らす世界

近内悠太講演会 利他と他者理解

成澤俊輔講演会 どうにもならない経験をとらえ直す

- ・中高生キャリア支援プログラム「私のコンパス」

安田菜津紀 日本も大変なのに、どうして世界のことを考えるの

公文和子 いのちの価値とキャリア形成 ーいのちの重さは誰が決めますか?

- ・2021 年度五井平和財団フォーラム

「想像を超える未来を創造する」

- ・2021 年度会員総会「報告と感謝の集い」

⑥各種行事の DVD 制作

- ・2021 年度会員総会「報告と感謝の集い」

- ・2021 年度五井平和財団フォーラム

4. 駐日外交官等国際交流プロジェクト

(1) 群馬県立女子大学連携講座「国際理解と平和～大使リレー講座」

※前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、実施見合わせ

(2) 駐日外交官による交流プロジェクト

実施日	実施校・参加人数	教育課程における位置付け	講師（敬称略）
令和3年 10月14日	麗澤中学・高等学校 （千葉県柏市） 約200名	総合的な学習	東ティモール民主共和国特命全権大使 イリディオ・シメネス・ダ・コスタ
令和3年 10月26日	中央大学附属高等学校 （東京都小金井市） 約30名	選択科目	ブルキナファソ特命全権大使 パスカル・バジヨボ 大使夫人 オリビア・ボジョボ 二等書記官 イドリッサ・ウエドラオゴ
令和3年 11月1日	静岡雙葉中学校・高等学校 約70名	総合的な学習	フィンランド大使館 一等書記官（経済・通商） ニーナ・ヴァイサネン
令和4年 3月11日	仙台市立仙台青陵中等教育 学校 約130名	学校行事	マダガスカル共和国大使館 文化経済参事官 トゥトゥザフィ・ハリス・ヴェロニク

5. 2021年度 国際ユース作文コンテスト

ユネスコの「持続可能な開発のための教育：SDGs 達成に向けて（ESD for 2030）」
を推進する事業として開催

主 催 公益財団法人五井平和財団

後 援 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、NHK、日本経済新聞社、
日本私立中学高等学校連合会、東京都教育委員会

協 賛 セイコーホールディングス株式会社、プラス株式会社

テーマ 『いのちって何？』

応募数 世界 161 カ国から 28,217 点

（子どもの部 7,670 点、若者の部 20,547 点）

作品発表 令和3年11月20日（土）五井平和財団フォーラムにて発表

文部科学大臣賞（各1点）

＜子どもの部＞最後に残るのは命

ビバーン・カトゥリア（9歳／インド）

＜若者の部＞大地からの教え：命とは何か、どう生きるべきか

ハー・ビック・ドン（24歳／ベトナム＜カナダ在住＞）

優秀賞 各3点

入 選 各5点

佳 作 各25点

学校特別賞 3校

学校奨励賞 66校

- 選考委員 委員長 千玄室（茶道裏千家前家元、ユネスコ親善大使、当財団理事）
 西園寺昌美（五井平和財団会長）
 都倉俊一（作曲家、日本音楽著作権協会特別顧問）
 成田純治（株式会社博報堂相談役、当財団理事）
 服部真二（セイコーホールディングス株式会社代表取締役会長
 兼グループ CEO 兼グループ CCO）
 松浦晃一郎（アフリカ協会会長、元ユネスコ事務局長、当財団評議員）
 美内すずえ（漫画家）
 矢崎和彦（株式会社フェリシモ代表取締役社長）
 葉祥明（絵本作家）

①作文コンテスト・バーチャル授賞式

開催日：10月23日（土）収録／10月31日（日）公開

参加者：上位入賞者13カ国18名（内日本人4名）が参加

内 容：オンライン形式による授賞式

- ・受賞者紹介
- ・主催者挨拶
- ・協賛企業・過去受賞者からのお祝いメッセージ
- ・スライドショー「Life is oo（いのちとは）」

②作文コンテスト受賞者オンラインの集い

開催日：10月23日（土）

参加者：上位入賞者11カ国15名（内日本人3名）が参加

内 容：グループに分かれて3つのテーマで対話

- ・今までの人生で一番大変だったこと、嬉しかったことは何ですか。
- ・コロナ禍はあなたの生活にどのような影響を与えましたか。
- ・これからどんな教育や学びの場があればよいと思いますか。

6. 地球っ子広場

(1) 地球っ子広場各地区展開 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み休止

- 活動趣旨 子どもたちが放課後や休日に、広く社会と触れ合える居場所を創設し、保護者、地域の人々が集う、良き地域コミュニティを目指し、生命・平和・環境等を大人と子どもが共に学ぶ広場を運営

- 後 援 ユネスコ国内委員会

- 認定事業 ユネスコ本部より「ESDの10年の公式活動」認定を受ける

(2) 地球っ子e広場

①夏休み企画 「親切」をテーマにお話ししよう、絵を描こう！

日 時：8月1日（日）10：00～12：00

参加者：5歳～11歳の7名

内 容：ピースパル国際アートコンテスト ワークショップ

②国際平和デー記念プログラム「和紙でつくろう！わたしたちのまんまるな地球」

日 時：9月23日（木・祝）

参加者：3歳から11歳の14名

内 容：絵本「ちきゅうはみんなのいえ」の読み聞かせの後、地球からの恩恵に思いを巡らせ、膨らませた風船に青い和紙をちぎって貼り付ける

③クリスマス・ワークショップ「世界の平和や幸せを願って、北欧のクリスマス飾り”ヒンメリ”をつくろう！」

日 時：12月12日（日）

参加者：11名

内 容：フィンランドに関するクイズを行った後、伝統的な工芸のヒンメリを制作。

④子どもたちの生きる力を養うプログラミング教室

日 時：2021年4月24日（土） 基礎・体験／1名参加
5月29日（土） 応用編／4名参加
6月27日（日） 基礎・体験／4名参加、応用編／7名参加
7月25日（日） 基礎・体験／1名参加、応用編／5名参加
8月22日（日） 基礎・体験／2名参加、応用編／3名参加
9月19日（日） 基礎・体験／3名参加、応用編／5名参加
10月24日（日） 基礎・体験／2名参加、応用編／5名参加
11月28日（日） 基礎・体験／4名参加、応用編／5名参加
12月19日（日） 基礎・体験／3名参加、応用編／4名参加
2022年1月16日（日） 基礎・体験／1名参加、応用編／3名参加
2月23日（水） 基礎・体験／2名参加、応用編／3名参加
3月27日（日） 基礎・体験／3名参加、応用編／3名参加

内 容：手のひらサイズのロボットを動かす多様なプログラミングで多様性への肯定感を育む

(3) 地球っ子広場コーディネーター対話会

日 時：令和4年1月30日（日）
参加者：10名
内 容：令和4年度の運営についてなど

7. 社会起業家育成プログラム

シチズン・アントレプレナーシップ・コンペティション（英語サイト）

内 容：国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資するアイデアやプロジェクトを募り、若者の社会起業を奨励・育成するオンライン・キャンパスおよびオンライン・コンペティション

主 催：五井平和財団、スティブタンク・アントレプレナーシップ財団、デジタル・エキスパート・ユナイテッド

後 援：World Peace Youth、PEGASUS(Youth Employment Campaign)、World Assembly of Youth、YES Global Association ほか

対 象：ユース部門／13歳から30歳まで
アダルト部門／31歳以上

期 間：3月～8月31日

コンペティション応募総数：ベスト・アイデア部門 305件

ベスト・プロジェクト部門 79件

選考方法：ウェブサイト上で最多得票を集めたエントリーにピープルズ・チョイス賞を授与

得票数により、各部門上位10位までのファイナリストの中から選考委員が最優秀賞、2位、3位を選考

選考委員：ギュンター・ファルティン（ベルリン自由大学教授）

西園寺裕夫（五井平和財団理事長）

ベルナード・コム（UNESCO 持続可能な開発のための教育プログラム・スペシャリスト）

パメラ・ピーターズ（Institute for a Sustainable Planet／Executive Director）

カースティン・フォスバーク（Planeta Océano 創設者）

セスト・ジョバンニ・カスタグノリ（Future Cooperative 共同創設者）

ラヴィ・チョードリー（シーネクスト・コンサルティング&インベストメント会長）他

授 賞 式：12月10日オンライン開催

<ユース部門>

■ベスト・アイデア

1位 コミュニティの発展／リン・ピエ・ハイン（16歳／アメリカ）

SDGs 目標 8：働きがいも経済成長も

SDGs 目標 11：住み続けられるまちづくりを

地域の発展に貢献する芸術やスポーツ、起業家精神、政治などの専門知識を学べる学校を設立し、貧困で就学が困難な6歳から18歳の子どもや若者が無料で学べる機会を提供。卒業後は3～5年の間、関連する企業で就労できる場も提供して経済格差を改善するアイデア。

■ベスト・プロジェクト

1位 プロジェクト・オーラ ED／プリヤンシュ・ピャクレル（18歳／ネパール）

SDGs 目標 4：質の高い教育をみんなに

SDGs 目標 9：産業と技術革新の基盤をつくろう

IT技術に詳しい学生ボランティアが学校を訪れ、パソコンの基礎からプログラミング、ウェブデザイン、サイバーセキュリティなどの知識を子どもたちに教えるプロジェクト。高校生4人で始めたプロジェクトに、現在100人のボランティアが協力し、これまでにネパール各地の5校で5000人以上に指導を行った。

<アダルト部門>

■ベスト・アイデア

1位 アニ／アーノルド・ラプス（33歳／男性／フィリピン）

SDGs 目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう

若者とコミュニティのボランティア活動をつなげるアプリを開発するアイデアで、ANIはタガログ語で「収穫」の意味を持つ。

ボランティア活動に参加すると、アプリ内にある自分のデジタルツリーが成長していき、自分の進歩が視覚的に実感できるというアイデア。

1位 Food&Wealth Concern Uganda／フレッド・アセガ（41歳／ウガンダ）

SDGs 目標 1：貧困をなくそう

SDGs 目標 2：飢餓をゼロに

ウガンダの貧困層が所有する遊休地を借り上げ、大規模な有機農業を行い、土地所有者には対価としてオートバイやマシンなどの製品または学費、農作物などを公平に提供するアイデア。

■ベスト・プロジェクト

1位 テーブル・バンキングで地方の貧困に挑む／テ・フランシス（41歳／カメルーン）

SDGs 目標 1：貧困をなくそう

SDGs 目標 4：質の高い教育をみんなに

テーブル・バンキングは、月に一度、少数の女性メンバーが集まり、所持金をテーブルの上に差し出し、メンバー内の女性に貸し付ける。借り受けたメンバーは仕事の資金にして、収益を増やし、利子と共に返済する。

女性の収入を増やすことで、貧困からの脱却はもとより、乳幼児死亡率の低下や家庭内暴力の回避、子どもの就学率の向上などにも効果がある。

8. ユネスコ活動・ESD・SDGs 推進事業

(1) ユネスコ活動・ESD 関連事業

1. ユース・コミュニティ発展のためのオンラインイベント開催

① ESD 日本ユース・コミュニティ・ミーティング

日 程：令和3年8月1日（日）

参加者：第1回～6回 ESD 日本ユース・コンファレンス参加者
45名

概 要：企業による SDGs の取組みに関する講演、ユースによる
6つのピア・ラーニング分科会他

2. ユース同士の学び合いの機会の提供（オンライン）

① ESD ユース・マルシェ（オンライン自主勉強会）

日 程：令和3年4月～12月（9回実施）

参加者：第1回～6回コンファレンス参加者他

概 要：ESD や SDGs に関するテーマを決め、毎回ユースが話題
提供を行い、議論を通して学びを深める。

実施日	参加人数	テーマ
令和3年4月28日 (水)	10名	SDGs の授業づくり ～多分人が動くワークショップ～
令和3年5月26日 (水)	11名	サステナブルな”福祉”を創る ～あなたができる幸せのデザイン～
令和3年6月25日 (金)	11名	SDGs の授業づくり ～SDGs はじめの一步～
令和3年7月16日 (金)	13名	8月6日を前に今一度自分が 生きたい未来を考える
令和3年8月19日 (木)	14名	高校2年生 F 君の SDGs プロジェクトを 応援する会
令和3年9月18日 (土)	13名	SDGs の授業づくり ～学び続ける子どもたちを育む～
令和3年9月30日 (木)	12名	南極観測隊と過ごした 117 日間
令和3年11月5日 (金)	11名	SDGs の授業づくり～子どもに追い越させる カリキュラムづくり～
令和3年12月10日 (金)	13名	SDGs の授業づくり ～SDGs・ESD 実践の難しさ～

3. ユース同士の連携や活動への支援

① 3校合同 SDGs プロジェクト～GOALS～

日 程：令和3年6月～12月（5回実施）

参加者：晃華学園中学校高等学校、麗澤中学・高等学校、東京
立正中学校・高等学校の生徒 約 20 名

概 要：3校の生徒が文化祭や校外出店等で SDGs を広く普及啓
発をすることを目的に、普及啓発冊子を協働し作成

会 場：都内会議室、オンライン

- ② 公立中学校の平和学習での連携
 日 程：令和 3 年 7 月 12 日（月）
 参加者：四日市市立橋北中学校 3 年生 約 30 名
 概 要：英語科における平和学習の単元で、広島県の NPO「カクワカ」共同代表がオンライン授業を行う
- ③ 公立小学校の平和学習での連携
 日 程：令和 3 年 9 月 30 日（木）
 参加者：橋本市立あやの台小学校 6 年生 約 60 名
 概 要：総合学習における平和学習の単元で、広島県の NPO「カクワカ」共同代表がオンライン授業を行い、その後、千羽鶴を平和記念公園に届ける
- ④ 私立高校の SDGs 講座での連携
 日 程：令和 3 年 10 月 27 日（水）
 参加者：麗澤高等学校 1 年生 約 210 名
 概 要：総合学習における SDGs の学習で、大分大学講師がオンライン授業を行う
- ⑤ 私立中学校の SDGs 連続講座での連携
 日 程：令和 3 年 10 月～令和 4 年 2 月（4 回実施）
 参加者：東京立正中学校 1～3 年生 約 90 名
 概 要：総合学習における SDGs の学習で、大分大学講師と連携し連続講座を行う
- ⑥ 私立高校の修学旅行前事前学習
 日 程：令和 4 年 1 月 28 日（金）
 参加者：東京立正高校 2 年生 約 160 名
 概 要：沖縄方面への修学旅行事前学習として、沖縄県立首里高校教諭とエンカル起業家による事前学習を実施
- ⑦ SDGs チャレンジ合同発表会
 日 程：令和 4 年 2 月 23 日（水）
 参加者：只見町立只見中学校、麗澤中学・高等学校、東京立正中学校・高等学校、晃華学園中学校高等学校、橋本市立あやの台小学校の児童・生徒、および ESD 日本ユース・メンバー 約 30 名
 目 的：各校の児童・生徒が SDGs に関する活動の成果を発表し、相互交流を行うと共に、ESD 日本ユース・メンバーがメンターとしてアドバイスを行う。
 会 場：オンライン
- ⑧ 公立中学校の平和学習での連携
 日 程：令和 4 年 3 月 9 日（水）
 参加者：伊奈学園中学校 2 年生 約 80 名
 概 要：総合学習における平和学習として、広島県出身で名古屋ユネスコ協会青年部の大学院生がオンライン授業を実施
- ⑨ ESD 関係団体との連携・協働
 年間を通じて、日本 ESD 学会若手の会や NPO 団体などと連携し、全国のユースが有機的につながるよう、様々な形で支援。

4. 日本・モロッコ学校間交流

モハメッド6世環境保護財団との連携事業として、国際交流と環境保護をテーマとしたプログラムを実施。

参加校：(国内) 昭和学院中学校・高等学校、東海大学山形高等学校、名古屋国際中学校・高等学校
(モロッコ) アフメッド・ベン・デラ・アル＝イドリッシ学校、オウム・エルファドル公立学校、タンジェ・バンク・ポピュレール私立学校

① 日本・モロッコオンライン交流・協働プログラム

日 程：令和3年11月～令和4年5月（3回実施）

参加者：約40名（日本・モロッコ）

概 要：両国の文化紹介・交流に続き、世界水の日に向け、各校内での水資源の保護を共通テーマにしたプロジェクトに取り組む

② 駐日モロッコ王国大使館による国際理解オンライン授業

日 程：令和3年11月8日（月）

参加者：約70名（日本）

概 要：外交官を招きオンライン授業を実施

③ オンライン交流に向けた事前授業

日 程：令和4年1月13日（木）

参加者：約20名（日本）

概 要：国内在住のモロッコ出身者を招き、国内3校による、モロッコと世界水の日についての事前学習を実施

5. ユネスコスクール支援

千葉県立市川昂高等学校「開かれた学校づくり委員会」に委員として参加

6. ESD 岡山アワード

ESD 岡山アワードを運営委員としてアワード審査員を担当

7. ESD 活動支援センター

ESD 活動支援企画運営委員会のメンバーとして参加

(2) SDGs（持続可能な開発目標）推進事業

① 令和3年度ローカル SDGs ユース・ダイアログ

日程および会場：

- DAY 1（全体会）：

令和4年2月20日（日） オンライン（Zoomを活用）

- DAY 2（集合研修）：

令和4年3月5日（土） 長野県長野市（会場・JA長野県ビル）

令和4年3月12日（土） 北海道札幌市（会場・札幌エルプラザ）

- DAY 3（全体会）：

令和4年4月3日（日） オンライン（Zoomを活用）

参加者：約25名（2会場）

目 的：持続可能な社会の実現を目指して、特に環境・経済・社会課題の解決や新たな価値の創造に地域で取り組んでいる、またはこれから取り組む意志があるユース世代を対象にしたセミナーの実施を通して、地域でローカルSDGs（地域循環共生圏）の実践に中心に取り組む人材の発掘・育成

を行い学びの機会を提供するとともに、セミナー後も地域における自発的な活動が起こるよう、同じ志を持つユースのネットワークを形成し、関係人口としてのユースと地域との関係づくりを強化

主 催：公益財団法人 五井平和財団

共 催：札幌市（北海道会場）

後 援：日本ユネスコ国内委員会、公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟、ESD 活動支援センター、長野県、長野市、小布施町、信州大学、長野県立大学、環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）

協 力：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）、環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO 北海道）、NPO 法人 場とつながりラボ home' s vi、こども国連環境会議推進協会、NPO 法人 ezorock

② 令和3年度ローカルSDGs キャンパス・ミーティング

日程および会場：

- 令和4年3月21日（月・祝） オンライン（Zoomを活用）
- 令和4年3月26日（土） 沖縄県沖縄市（会場・STARTUP LAB LAGOON）
- 令和4年4月 9日（土） 岡山県倉敷市（会場・ウィズアップくらしき）

参加者：約70名（3会場）

目 的：持続可能な社会の実現を目指して、特に環境・経済・社会課題の解決や新たな価値の創造に地域で取り組んでいる、またはこれから取り組む意志があるユース世代を対象にしたセミナーの実施を通して、地域でローカルSDGs（地域循環共生圏）の実践に中心的に取り組む人材の発掘・育成を行い学びの機会を提供するとともに、セミナー後も地域における自発的な活動が起こるよう、同じ志を持つユースのネットワークを形成し、関係人口としてのユースと地域との関係づくりを強化

主 催：公益財団法人 五井平和財団

共 催：SDGs ネットワークおかやま（岡山会場）

後 援：日本ユネスコ国内委員会、公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟、ESD 活動支援センター、福島県、岡山県、沖縄県、福島県教育委員会、岡山県教育委員会、沖縄県教育委員会、倉敷市、琉球大学、岡山 ESD 推進協議会

協 力：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）、NPO 法人 場とつながりラボ home' s vi、株式会社起点、株式会社 ITONAMI、プロジェクトマナティ、STARTUP LAB LAGOON

8. 青少年育成に係る若手指導者養成奨学金事業

一般奨学生 岡田美優 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士課程

選考委員（委員長） 成田 純治 株式会社博報堂取締役相談役（当財団理事）
魚谷 雅彦 株式会社資生堂代表取締役社長兼 CEO
大塚 久利 大塚刷毛製造株式会社前代表取締役会長
西園寺裕夫 公益財団法人五井平和財団理事長
竹田 恆和 日本オリンピック委員会前会長
都倉 俊一 作曲家、一般社団法人日本音楽著作権協会特別顧問
服部 真二 セイコーホールディングス株式会社代表取締役会長
兼グループ CEO

附属明細書

令和 3 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 4 年 5 月

公益財団法人 五井平和財団